

第1次千葉県食育推進計画の構成

キャッチフレーズ

「食べること 生きること」
「生命（いのち）をつなぐちばの食育」

ちばの食育推進の4つの視点

1. 親から子へつなぐ生命（いのち）
2. 人から人へつなぐ文化
3. 作り手から買い手へつなぐ食べ物
4. わたし、あなた、みんなへつなぐ輪

基本理念

大地と海の恵み豊かな「ちばの食材・食品」をしっかり噛んで味わうことから始め、「ちばの食」を実感し、食を通して郷土意識を育みながら、健やかな体と豊かな心をもった人づくりを目指します。さらに、みんなで取り組む「ちばの豊かな食卓づくり」を県民運動として推進し、「ちば」に暮らす喜びと健康が実感できる「元気な『ちば』」を創ります。

3つのちからでちばの食育を推進

① ちばの食育を支える「県のちから（人材・食材・産業・文化など）」

② 個性と活力あふれる「地域のちから（地域力）」

③ 「ちば型食生活」の実践を通じた「個人のちから」

ちばの食育を目指す7つの方向

- ① 食の基本を知る
- ② 本物を志向する
- ③ 食を通して「ちば」を知り、愛着を持ち、誇りに思う県民をみんなで育てる
- ④ 与えられる食から自ら選んで摂る食へ、意識改革を図る
- ⑤ 家族のちから、地域のちからを育てる食育
- ⑥ あらゆる世代で取り組む食育
- ⑦ 家庭における「ちば型食生活」の実践

重点施策項目

(1) 親から子へつなぐ生命

- 施策①-1 噛むことから始める乳幼児期からの食育の推進
- 施策①-2 保育所・幼稚園での食育の推進
- 施策①-3 県民一人ひとりの生涯にわたる健康づくり
- 施策①-4 家庭における食育の推進

(2) 人から人へつなぐ文化

- 施策②-1 学校における食育の指導体制と指導内容の充実
- 施策②-2 学校給食を活用した食育の充実と干産干消の推進
- 施策②-3 生産者との触れあいや都市と農山漁村の顔の見える交流の促進と体験を通じて食を学ぶ取組の推進
- 施策②-4 地域の優れた食文化や食習慣の継承

(3) 作り手から買い手へつなぐ食べ物

- 施策③-1 「おいしいちば」を実感する干産干消・旬産旬消の推進
- 施策③-2 豊かな自然と豊富な食材に恵まれた「ちば」を体感する「千葉県型グリーン・ブルーツーリズム」の推進
- 施策③-3 安全・安心な「食」や「食材」の生産と提供の確保
- 施策③-4 食品情報に関する制度の普及啓発と表示の適正化の推進
- 施策③-5 情報を適切に判断し、食を選択する力を養うための啓発と情報の提供

(4) わたし、あなた、みんなへつなぐ輪

- 施策④-1 農業県ちばの特徴をいかした食育政策の検討
- 施策④-2 市町村や関係団体等の連携・協力体制の下、地域が一体となった食育推進体制の整備
- 施策④-3 学校、家庭、地域の連携による食育推進のための「仕組みづくり」、「地域づくり」
- 施策④-4 市町村食育推進計画の策定の促進
- 施策④-5 「ちば型食生活」の普及啓発
- 施策④-6 ちばの食育推進県民大会（仮称）等のイベントの開催による普及啓発
- 施策④-7 「ちばの食育」ホームページによる食育に関する総合的な情報の提供
- 施策④-8 「ちば食育ボランティア」や「ちば食育サポート企業」の登録の促進と活動への支援
- 施策④-9 地域での食育活動の核となる「ちばの食育コーディネーター」の育成
- 施策④-10 官民パートナーシップによる新たな食育推進運動の展開
- 施策④-11 環境にやさしいライフスタイルへの転換と「ちばのうまい食材食べきり運動（仮称）」の推進
- 施策④-12 大学等の専門知識を有する機関との連携の強化

